

地球にいいことはじめよう！

こどもエコクラブ募集中！



ひかり保育園エコクラブ
(リサイクル活動 エコキャップ運動)



塩冶幼稚園エコクラブ
(畑で野菜作り体験)

こどもエコクラブとは？

子どもたちの関心や興味に基づき、自然観察・調査やリサイクル活動、地球温暖化を防ぐ活動など、家庭・学校・地域の中で身近にできる「地球にやさしい活動」に取り組むクラブです。環境を良くするために活動してみませんか！

登録するには・・・

- ◎メンバー（3～18歳）とサポーター（保護者や学校の先生など）が、それぞれ1人以上いれば登録できます。サポーターのうち1人が代表サポーター（事務局との連絡担当者）になってください。
- ★登録は随時受け付けています。（登録料・会費は無料！）
- ★登録用紙は環境政策課にあります。また、市のホームページからもダウンロードできます。
（登録先：こどもエコクラブ全国事務局 ☎03-5643-6251 ホームページ <http://www.j-ecoclub.jp>）

登録すると・・・

- ★活動に役立つツールが届きます。
- ★メンバー、サポーターは、自動的に「賠償責任保険」（こどもエコクラブ全国事務局で加入）の対象になります。

道の駅「湯の川」 電気自動車急速充電スタンド供用開始

このたび、道の駅「湯の川」に、電気自動車急速充電スタンドを設置し、供用を開始しました。

この施設は、走行中の温室効果ガス排出がない電気自動車等の普及を目指して設置したもので、24時間無料としていますので、ぜひご利用ください。

急速充電スタンドは、このマークが目印です。



鳥根町民 市町村別無料キャンペーン

あなたの町を
ご招待

8月・10月は、太古の森にタイムスリップしよう！

縄文時代の巨木の森を展示する「三瓶小豆原埋没林公園」では、市町村別無料キャンペーンを開催しています。

出雲市民は、8月と10月、同施設の入館料が無料になります。
（ご利用の際は、運転免許証等住所のわかるものをご持参ください。）
この機会に世界的に貴重な太古の森の迫力をご体験ください。

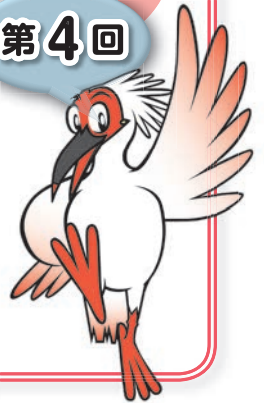
三瓶小豆原埋没林公園 大田市三瓶町多根口58-2 ☎0854-86-9500



となりの

ミコトツキ

第4回



トキ保護の歴史

日本のトキ保護が始まったのは82年前の昭和7年で、農林省によって「朱鷺を保護せらるべし」の標柱が立てられました。公費による保護増殖事業が始まるのは55年前の昭和34年で、当時は新潟県、文化庁等が保護増殖事業を行っていました。21年前の平成5年になり「種の保存法」に基づき、保護増殖事業計

画が策定され、平成11年頃から増殖が軌道に乗りました。現在、トキ保護は環境省が中心となり、出雲市を含めさまざまな主体で行われています。

今回は、出雲のトキとの関わりについて紹介します。

おたすね／出雲市
トキ分散飼育センター ☎ 1350

和暦	西暦	できごと	トキの数
S7	1932	農林省により「朱鷺を保護せらるべし」との標柱が立てられる	
S9	1934	天然記念物(文化財保護法)	
S27	1952	特別天然記念物(文化財保護法)	32
S34	1959	公費による保護増殖事業開始	11
S42	1967	新潟県がトキ保護センターを開設(清水平)	12
S45	1970	本州最後のトキ捕獲	12
S46	1971	環境庁設立	12
S50	1975	トキの保護増殖事業が文化庁から環境庁に移管	9
S55	1980	環境庁が新潟県に保護増殖事業を委託開始	6
S56	1981	佐渡で全鳥5羽捕獲(♂1羽、♀4羽) 中国でトキ発見(7羽)第1回日中トキ会議	6
S60	1985	「ホアホア」を中国から貸与。「キン」とペアリング図るも失敗(H元返還)	4
H2	1990	「ミドリ」を中国に送りペアリングを図るも失敗(H4帰国)	4
H5	1993	国内希少野生動物種指定、保護増殖事業計画策定(種の保存法) 環境庁が佐渡トキ保護センターを開設	2
H6	1994	「ロンロン」「フォンフォン」を中国から貸与、「ロンロン」その後死亡、「フォンフォン」は「ミドリ」とペアリングを図るも失敗	4
H11	1999	「ヨウヨウ」「ヤンヤン」到着、人工増殖成功「ユウユウ」誕生、以降順調に飼育下繁殖が進む	4

出典「トキの死亡事故にかかる検証委員会報告書」から抜粋

樹木のドクター

Vol.6



樹医からのアドバイス

幹に穴を見つけたら要注意!

庭木の幹に、つまようじの先ほどの穴が開き、木くずが出てくるものがありますか。今回ご紹介するのは、樹木に穴を開けて中を食い荒らし、樹勢を弱らせるカミキリムシです。

カミキリムシとはどんな虫?

カミキリムシは日本に約800種類存在します。成虫は体長25〜35mm程度で、長い触覚があります。市内ではゴマダラカミキリがよく見られ、比較的樹皮の薄いモミジやポプラ、イチジク、ドウダンツツジ、ヤナギなどが被害に遭っています。

防除方法は?

成虫は5〜8月頃に飛来しますので、見つけたい捕殺します。早朝は、成虫の活動が不活発なので、駆除が比較的容易です。樹木の中の幼虫を駆除するには、まず木くずを見つけてください。木くずの排出孔から材内に園芸用スプレー殺虫剤を注入しましょう。

6月頃、カミキリムシの成虫は幹の表面にかみ傷を付け、産卵します。ふ化した幼虫は、8〜11月に地際の樹皮下を食べながら成長しますが、深く侵入する際に、繊維状の木くずを出します。その後、樹木の中で越冬してさなぎになり、5〜6月頃羽化して樹木から脱出します。被害に遭った樹木は衰弱し、枯死することもあります。



ゴマダラカミキリの成虫



幼虫の侵入跡

また、産卵防止として、成虫を樹木に近寄せないために、5月初めにスミチオン乳剤(千倍)を樹木全体に噴霧しましょう。



成虫の脱出跡

おたすね／出雲市樹医センター ☎ 6497